

地域のかお シリーズ113

みんなが幸せな学校

宮崎市立広瀬中学校
校長 藤井寛史

4月に日向市立財光寺中学校から広瀬中学校にまいりました校長の藤井寛史（ふじいひろし）と申します。どうぞよろしくお願いたします。

今年度、本校は、「全ての生徒、保護者・地域の方、教職員がたくさんの『幸せ』を感じる学校づくり」をスローガンに様々な教育活動に取り組んでおります。本校に通っている生徒はもちろん、その保護者、広瀬中校区に住む地域の方々、将来広瀬中学校に入学するであろう児童館を利用する子どもたちなど、広瀬地区全体が「幸せ」を感じるために、地域にある学校としてもっとできることはないか、という思いを込めています。

生徒たちにどのような時に「幸せ」を感じるかを尋ねると、「学校が休みで好きな遊びができる時」「部活動で試合に勝った時」という自分の話をします。もちろん、「現在」の自分が幸せということは素晴らしいことですが、もう少し高いレベルの「幸せ」まで感じてほしいのです。それは、今だけでなく、自分の「将来の幸せ」や、自分だけでなく「クラスみんなの幸せ」、「学校全体が幸せ」さらには「住んでいる地域、国、世界の幸せ」といった利他的な意識をもってほしいということです。これまで、自分が幸せになることだけを考えていた行動が、みんなが幸せになるためには、どうすればよいか、考え、行動できる、そんな生徒であってほしいと思います。



昨年度、宮崎市教育委員会が主催する「第2回宮崎市中中学生キャリア教育アワード『みやざき未来発表会』」において、本校の2年生チームが発表した「交流で絆を」が、見事に最優秀賞を受賞しました。今回で2回目となるこの発表会は、地域課題について、中学生が探究的な活動を通して改善策を練り上げ、提案していくものです。「広瀬地区を持続可能な地域にするには？」というテーマで、地域との関わりや顔見知りの関係性を深めるために地域交流会を企画し、災害時の協力体制を強化するための知識や情報交換の場を設け、地域づくり協議会に参画しながら自分たちにできることを考えるという素晴らしい内容でした。

本校では、これまでも地域のボランティア活動に多くの生徒が参加していますが、今回の発表をきっかけとして、さらに地域と学校の絆を深めていくとともに、地域全体の「幸せ」を考える生徒が一人でも増えてほしいと願っています。



児童館行事 5月10日（土）さつまいもの植え付け



大きなお芋
に育ってね！

